

NIH、光子計数検出器 CT スキャナーの臨床設定における使用可能性に関する調査を実施 (2月24日)

国立衛生研究所 (National Institutes of Health : NIH) は2月24日、NIH 臨床センター (Clinical Center) が新世代コンピュータ断層撮影 (computerized tomography : CT) スキャナー「光子計数検出器 CT スキャナー (photon-counting detector CT scanner)」の臨床設定における使用可能性に関する調査を行っていることを明らかにした。新世代スキャナーのプロトタイプ技術は、画質は従来の CT スキャナーとほぼ同じであるが、マルチエネルギー画像を通して、体内の様子を更に詳しく医療専門家に提供できる可能性があるという。放射線・撮像科学部門 (Department of Radiology and Imaging Sciences) 責任者のデービッド・ブルームキ氏 (David Bluemke) が主導する研究チームは、今後5年間をかけてスキャン・プロトコルと画像処理アルゴリズムの開発に継続して取り組み、がんや循環器疾患などといった症状に対する検査・撮像・治療計画の向上を目指すことになる。

National Institutes of Health, NIH uses photon-counting CT scanner in patients for the first time
<http://www.nih.gov/news-events/news-releases/nih-uses-photon-counting-ct-scanner-patients-first-time>